

## 黒河(くろこ)の会便り 第 11 号

### ◆はたごんぼ 奉納

12 月 15 日“畑ごんぼ”を生産している西畑地区の有志によって、黒河道雑事（ゾウジ）上りの再現奉納が行われました。



「雑事のぼり」とは、年の終わりに農事仕舞として、農産物に感謝し奉納する行事で、昔は黒河道を通過して高野山へ奉納されていたようです。前日とは打って変わっての穏やかな天候に恵まれ、平木橋本市長出席のもと午前 8 時、定福寺にて道中安全を祈願、ごんぼを背負った有志 30 数名の一行は出発しました。背負子には「奉納はたごんぼ」の木札を、手にはのぼりを持って、菰に巻かれた 21 ㎏のごんぼを背負い、にぎやかな出で立ちでした。

一行は 7 : 30 に丁田を出発、定福寺での祈願の後明神ヶ田和、黒河道を上り 16 : 30 頃に金剛峯寺に到着「はたごんぼ奉納式」を行う予定と伺いました。昨年は車での奉納であったが、今年は昔を再現して黒河道を徒歩で奉納することになったそうです。

今回は伊都振興局、橋本市教育委員会の後援、さらに高野七口学からは世界遺産マスターの案内人の 4 名の派遣もあり、黒河の会としては誠に嬉しいイベントとなりました。

このような行事をとおして黒河道の知名度も一層上がり、世界遺産追加登録に向け弾みがつくことでしょう。



### ◆ちちんぷいぷいの反響

9 月 4 日と 11 日の MBS 毎日放送「ちちんぷいぷい 昔の人は偉かった」の放映で黒河道が多くのの人に知られることになりました。黒河道を歩く人も増えてきたように感じます。しかし、この道は高野山への最短距離とはいえ、18 ㎏の山道は険しく、一般のハイキングコースのように気軽に登れる道ではありません。道標や、道普請などの手入れが益々必要となります。先月の黒河便りにも書きましたが、文化庁の審査や、ユネスコへの申請に関しては、追加登録という事もありハードルはそんなに高くないような気がします。今後とも尚一層のご協力をお願いいたします。

それでは 皆様 よいお年をお迎えください。